

令和 3 年度事業計画

令和 3 年度の日本経済は、政府の経済対策の効果などを背景に改善基調を辿るとみられ、年度内に経済水準がコロナ前の水準に回帰することが見込まれている。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の収束が不透明なことから、経済に大きなマイナスの影響を与える可能性がある。

一方、私立大学の令和 2 年度入学定員割れ状況は、平成 28 年度から段階的に実施されている大学規模別の入学定員管理の厳格化もあり、前年度に比べて 10 校減少し、全体に占める割合も 2 ポイント改善し 31.0%となっているものの、平成 30 年以降 18 歳人口の減少は続いており、私立大学を取り巻く経営環境は一層厳しい状況を迎える。

大学においては、初めての大学入学共通テストや新型コロナウイルス感染症が本学の志願動向にどのような影響を及ぼすのか不透明な中、今年度も学生の安定的確保を最優先課題として全学を挙げて取り組む。令和 3 年度はハイブリッド型のオープンキャンパスやライブ講義・大学説明会等を実施することにより、進学希望者だけでなく進路指導教員等の参加の機会を増やし、学生募集活動の推進を図ることとする。

教学面では、コロナ禍で構築されたオンライン授業用教材を活用し、対面授業を併用するハイブリッド型授業により教育の質の向上を図る。併せて、全学部学生を対象とするリテラシーレベルの AI 教育の推進、初年次から一貫性のあるキャリア教育の実施等により、学士力の向上を図る。また、地域の社会貢献事業として、「復興大学事業」の発展的事業として「地域未来構築事業」を立ち上げ、地域の産業復興・活性化、人材育成及び自治体・団体・産業界等の包括連携協定先と連携活動の推進を図ることとする。

高校においては、入学定員及び収容定員ともに確保することができていないことから、令和 4 年度からの学科再編を行い、各学科・コースの特色や強みについて分かり易い形で広報活動を展開し、志願者・入学者の確保に努めていくこととする。また、学校評価アンケートや授業評価アンケートなど、高校運営に関する意識調査の分析結果を活用し、生徒・保護者の満足度向上に努めていくこととする。教学面では、教員の授業力向上を図るための教員研修を充実させるとともに、コロナ禍でのオンライン授業を踏まえた ICT 教育の更なる推進を図っていくこととする。

今後の教育研究環境を整備していくため、今年度も主たる収入財源である学生生徒等納付金収入と補助金収入を確保するとともに、厳正な予算執行により予算に掲げた基本金組入前当年度収支差額を確保し、財政基盤の確立に取り組むこととする。また、八木山キャンパス整備基本計画に従い、本年 4 月には新棟 1 期工事（実験・教育棟）の建築に着手する。なお、今年度も引続き中期計画「TOHTECH2023」に掲げた施策を着実に実行していくこととする。

II 事業計画の内容

1. 大学部門

(1) 教育

- ア. ハイブリッド型授業による教育の質向上の推進
- イ. AI 等教育の更なる推進
- ウ. 休退学防止の推進
- エ. 入学者選抜方法の再検討
- オ. 学生募集活動の推進
- カ. 定常的な評価・改善の体制構築
- キ. IR 環境の整備と推進
- ク. 学修成果の可視化及び活用の推進
- ケ. 学士力の質的向上のためのキャリア教育の再構築
- コ. 就職支援の強化
- サ. 課外活動支援の推進

(2) 研究

- ア. 東北 SDGs(Sustainable Development Goals)研究実践拠点形成事業の推進
- イ. 研究支援の推進
- ウ. プロジェクト研究所の推進
- エ. 研究コンプライアンス・リスクマネジメントの推進
- オ. 大学院の強化

(3) 社会貢献

- ア. 地域未来構築事業
- イ. 社会貢献活動の推進と拠点の将来計画像の検討

(4) ガバナンス

- ア. 教員業績の可視化と点検評価の推進
- イ. FD・SD 活動の推進
- ウ. 広報の見直し

(5) 施設設備

- ア. オンライン授業実施環境の充実

(6) 連携・交流

- ア. 高大接続の推進
- イ. 国際交流活動
- ウ. 後援会・同窓会との連携強化

2. 高校部門

(1) 教育活動の充実

- ア. 基礎学力の定着指導の充実
- イ. 教科指導力の向上
- ウ. ICT 教育の推進
- エ. 学科の教育内容の更なる充実・発展
- オ. 生徒が生き生きと活動できる学校づくり
- カ. 東北工業大学との連携と進学者確保

(2) 生徒支援の充実

ア. 資格取得に向けた指導の充実

イ. 進路指導の充実

ウ. 多様な生徒への教育支援の充実

(3) 地域連携・貢献への取り組み

(4) 学校運営

ア. 生徒募集に向けた戦略的活動の実践

イ. 校内外組織体制の改善

ウ. 教育の質保証

エ. 危機管理体制の強化

(5) 計画的な事業予算の策定と管理・執行

3. 法人部門

(1) 収入の確保

(2) 支出の抑制

(3) 学生への経済的支援制度の継続実施

(4) 業務のデジタル化の推進

(5) 危機管理体制の充実

(6) 施設・設備の改修

(7) 八木山キャンパス整備基本計画の推進

(8) 寄付金募集事業計画の推進